

中国地域における工業系公設試験研究機関との比較について

— 令和4年度データによる —

1 県勢等について

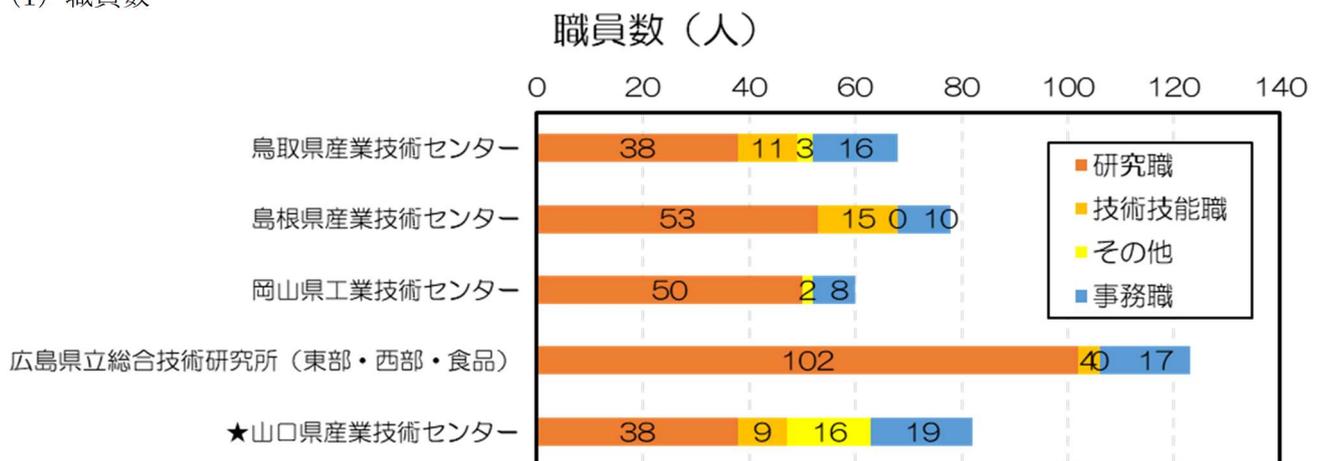
県名	人口 (千人)	事業所数 (実数)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (百万円)	付加価値額 (百万円)
鳥取県	544	847	30,974	844,085	281,822
島根県	658	1,213	42,027	1,286,579	433,094
岡山県	1,862	3,923	150,020	8,365,362	2,068,687
広島県	2,760	5,893	212,956	9,943,935	3,101,895
山口県	1,313	1,993	97,789	6,650,098	1,977,516

※ 人口は総務省令和4年人口推計より

※ 人口以外は、経済産業省2022年経済構造実態調査より

2 各県公設試の職員数について

(1) 職員数



(2) コーディネート機能

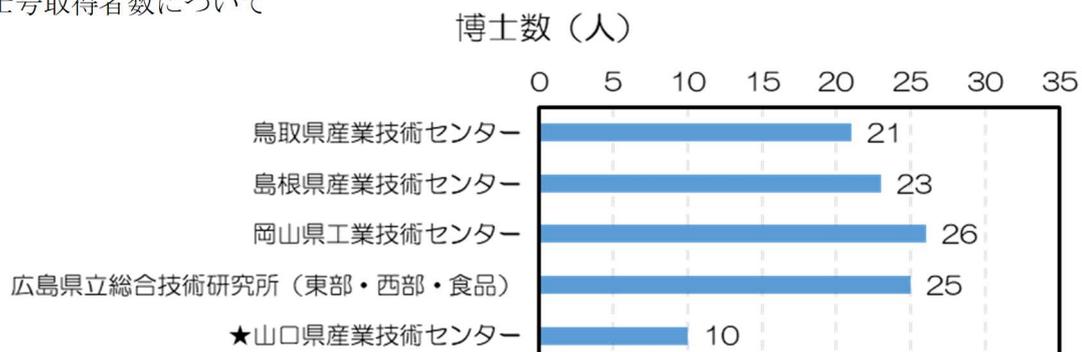
機関が直接コーディネータを雇用しているのは山口県のみである。(10名+企業からの派遣3名)

また、所属機関の技術シーズに拘らないコーディネートを実施しているのも山口県のみである。

岡山県には、県(本庁)の事業で雇用したコーディネータ1名が常駐している。

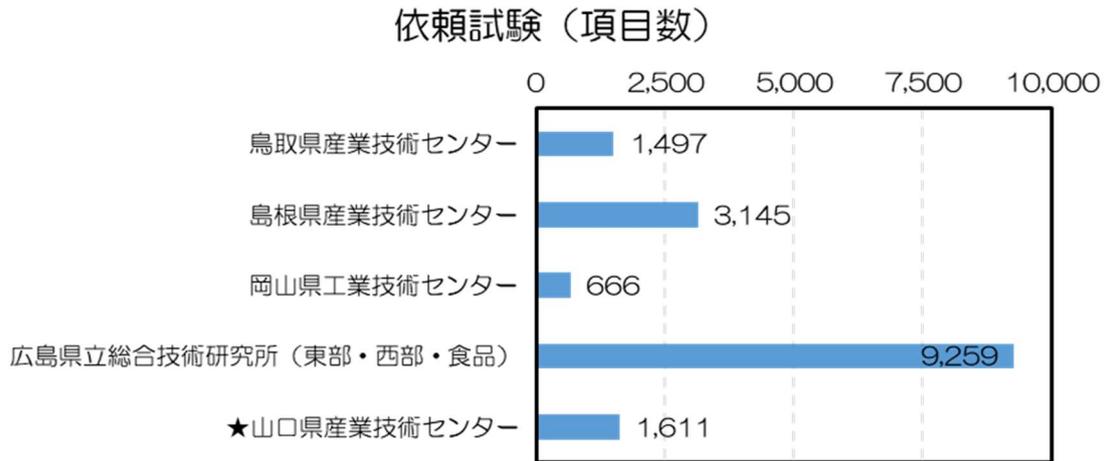
上記以外の機関では、関連する財団がその任にあっている。

(3) 博士号取得者数について

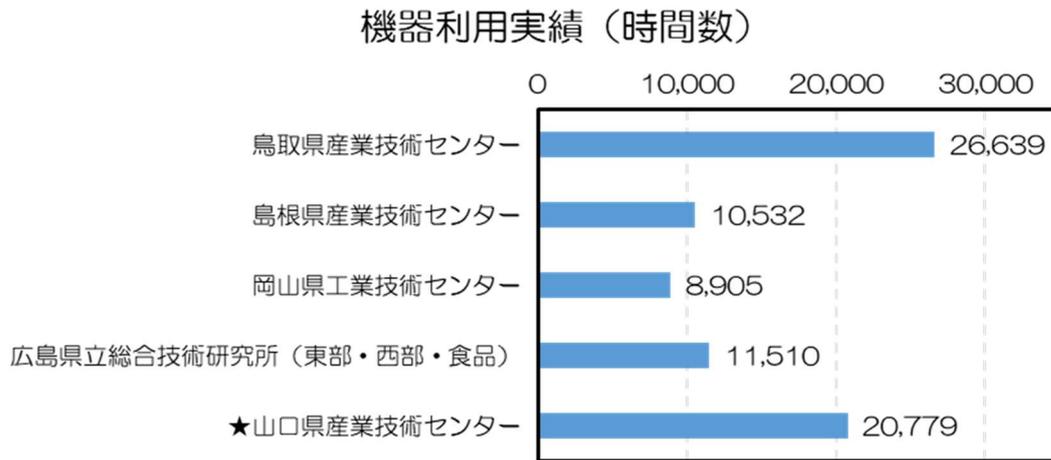


3 技術支援について

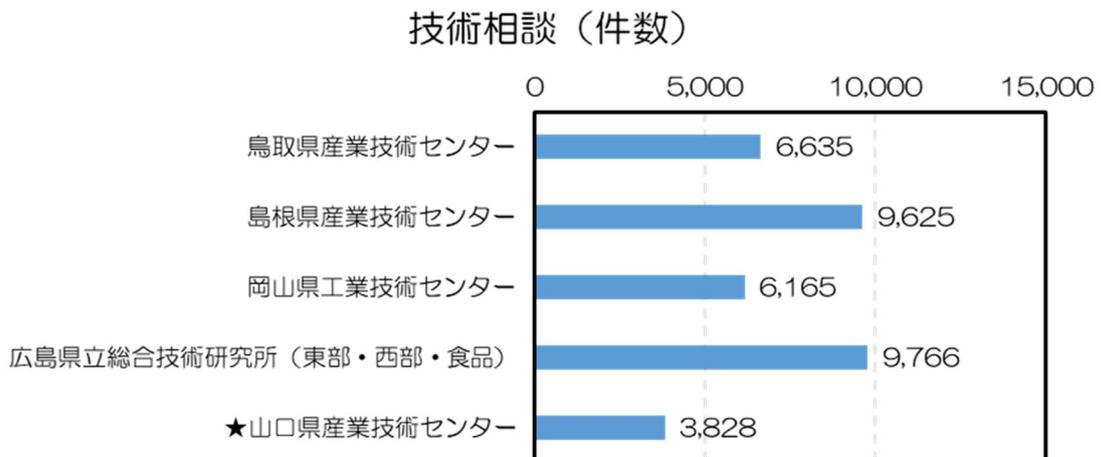
(1) 依頼試験



(2) 機器利用

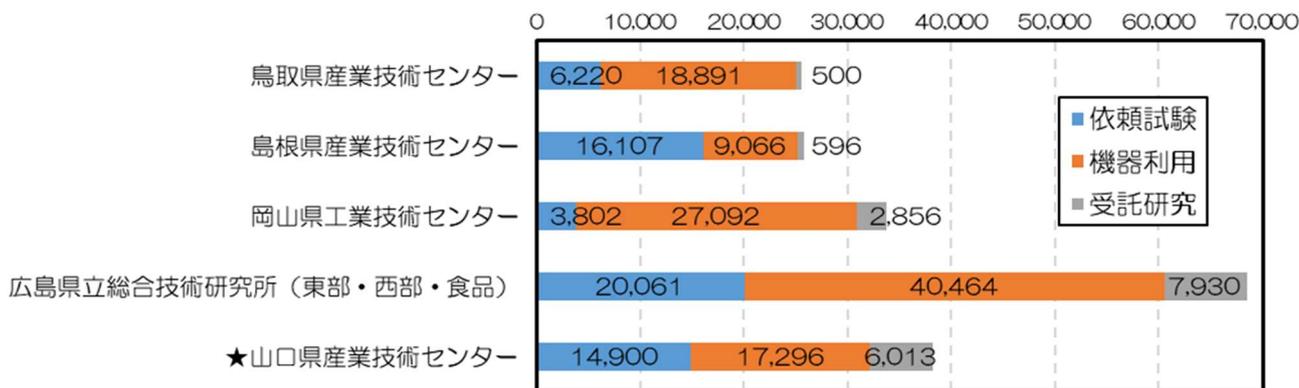


(3) 技術相談



(4) 技術支援による収入

技術支援による収入(千円)



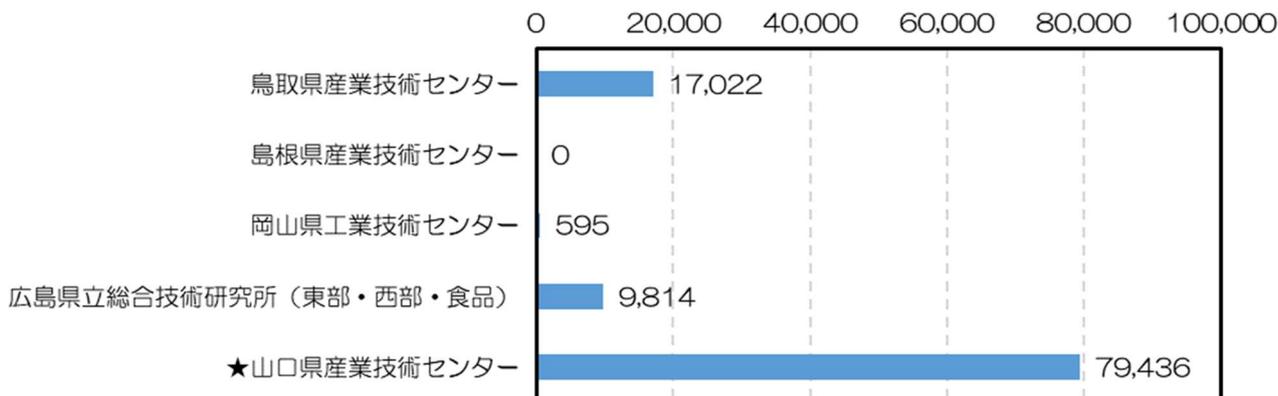
4 提案公募等について

(1) 事業管理機能について

サポイン事業等の事業管理機能業務を実施しているのは、山口県のみである。

(2) 提案公募等による収入について

提案公募等による収入（千円）



5 特許等の実績について

特許等の実績（件）

